

甲第三十八号

| | |
|-----|---|
| 発行年 | 1910 |
| URL | http://hdl.handle.net/10114/570 |

貸借ニ期間ノ定アルトキト雖モ貸貸人又ハ破産管財人ハ第六百二十二條ノ規定ニ依リ解約ノ申入ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テ各當事者ハ相手方ニ對シテ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

(參照)商九三佛商四五〇五五〇澳破産法二三伊商七〇三三瑞債務法二八八三一五

第六百二十八條 契約ニ反スル使用ニ因リテ生シタル損害賠償ノ請求及ヒ第六百十一條ノ規定ニ依ル費用償還ノ請求ハ貸貸人カ返還ヲ受ケタル時ヨリ一年内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

(參照)澳一〇九七一一二モンテチグロ二九六獨二章五〇〇

秘

甲第三十八號

明治二十八年六月二十二日配付

第八節 雇傭

第六百二十九條 雇傭ハ當事者ノ一方カ相手方ニ對シテ勞務ニ服スルコトヲ約シ其相手方カ之ニ報酬ヲ與フルコトヲ約スルニ因リテ其效力ヲ生ス

(參照)取二六〇二六六商五八佛一七〇一七七九一七八〇、澳一一五一一一六三一七三蘭一五八五伊一五七〇葡一三七〇一三九一、一四〇九瑞債務法三三八三三九三三四八、モンテチグロ三二九三三〇、白草一八四〇一八四一、獨一章五五九同二章五五一普國法一部一二章八六九八七〇八七五、索一二二九一二三〇一二三二、巴章四八三四八八

第六百三十條 勞務者ハ其約シタル勞務ヲ終ハリタル後ニ非サレハ報酬ヲ請求スルコトヲ得ス

期間ニ依リテ定マリタル報酬ハ其期間ノ經過シタル後之ヲ請求スルコトヲ得

(參照)五三一澳一一五六瑞債務法三四〇モンテチグロ三三

一、獨一章五六〇、同二章五五五、索一二三八、巴章四九六、
第六百三十一條 報酬カ期間ニ依リテ定マリタル場合ニ

於テハ勞務者ハ自己ノ責ニ歸スヘカヲサル事由ニ因リ
其期間ニ對シテ割合ニ僅少ナル時日間勞務ニ服スルコ
ト能ハサルモ之カ爲メニ報酬ヲ受クル權利ヲ失ハス

(參照)五三三、一項瑞債務法三四一、獨一章五六二、同二章五五
七同商六〇。

第六百三十二條 使用者ハ勞務者ノ承諾アルニ非サレハ
其權利ヲ第三者ニ讓渡スコトヲ得ス

勞務者ハ使用者ノ承諾アルニ非サレハ第三者ヲシテ自
己ニ代ハリテ勞務ニ服セシムルコトヲ得ス

勞務者カ前項ノ規定ニ反シ第三者ヲシテ勞務ニ服セシ
メタルトキハ使用者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

(參照)六一五、澳一一六一、瑞債務法三三九、獨二章五五四、巴章
四八七、四九一

第六百三十三條 雇傭ノ期間カ五年ヲ超過シ又ハ當事者

ノ一方若クハ第三者ノ終身間繼續スヘキトキハ當事者
ノ一方ハ五年ヲ經過シタル後何時ニテモ契約ノ解除ヲ
爲スコトヲ得但三ヶ月前ニ豫告ヲ爲スコトヲ要ス

(參照)取二六一、商五九二、佛一七八、蘭一六三七、伊一六二
八、葡一三七一、瑞債務法三四五、西一五八三、白章一八四二、獨
一章五六四、同二章五五三、索一二三四、巴章五〇六

第六百三十四條 當事者カ雇傭ノ期間ヲ定メサリシトキ
ハ各當事者ハ何時ニテモ解約ノ申入ヲ爲スコトヲ得此
場合ニ於テハ雇傭ハ解約申入ノ後二週間ヲ經過シタル
ニ因リテ終了ス

報酬カ期間ニ依リテ定マリタル場合ニ於テハ解約ノ申
入ハ次期以後ニ對シテ之ヲ爲スコトヲ得但其中申入ハ當
期ノ前半ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

(參照)取二六〇、二項商五九一、項瑞債務法三四三、モンテネグ
ロ三三七、獨一章五六三、同二章五五九乃至五六二、巴章五〇

第六百三十五條 當事者カ雇傭ノ期間ヲ定メタルトキト雖モ已ムコトヲ得サル事由アルトキハ各當事者ハ直チニ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但其事由カ其者ノ過失ニ因リテ生シタルトキハ相手方ニ對シテ損害賠償ノ責ニ任ス

(參照)取二六三二六三商六一六三六四澳一一六〇葡一三七六一三七七一三八〇乃至一三八二一三九四瑞債務法三四六セシテチダロ三三六四一五八四一五八六獨一章五六六同二章五六五乃至五六七同商六二普國法一部五章三七七乃至三八四巴草五〇一乃至五〇三

第六百三十六條 特別ノ信用ニ基ク學術上ノ勞務ヲ以テ雇傭ノ目的ト爲シタルトキハ各當事者ハ何時ニデモ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但相手方ニ不利ナル特別ノ事情アル場合ニ於テ解除ヲ爲シタルニ因リ損害ヲ生シタルトキハ相手方ハ其損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

(參照)取二六六澳一一六三葡一四〇九瑞債務法三四八セシテチダロ三二九獨二章五六五二項五六七二項索一二三〇、

巴草四八四

第六百三十七條 雇傭ノ期間滿了ノ後勞務者カ引續キ其勞務ニ服スル場合ニ於テ使用者カ之ヲ知りテ異議ヲ述ヘサルトキハ前雇傭ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ雇傭ヲ爲シタルモノト推定ス但各當事者ハ第六百三十四條ノ規定ニ依リ契約ノ申入ヲ爲スコトヲ得

(參照)瑞債務法三四二セシテチダロ三三八獨一章五六五同二章五六四索一二三四巴草五〇七

第六百三十八條 使用者カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ雇傭ニ期間ノ定アルトキト雖モ勞務者又ハ破産管財人ハ第六百三十四條ノ規定ニ依リ契約ノ申入ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テ各當事者ハ相手方ニ對シテ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

(參照)六二七商九九三

第六百三十九條 第六百二十五條ノ規定ハ雇傭ニ之ヲ準用ス

第六百四十條 本節ノ規定ハ別段ノ定アル場合ニハ之ヲ適用セス但第六百二十九條第六百三十三條第六百三十五條及ヒ第六百三十八條ノ規定ハ此限ニ在ラス



甲第三十九號

明治二十八年七月二日配付

第九節 請負

第六百三十九條 請負ハ當事者ノ一方カ或仕事ヲ完成スルコトヲ約シ相手方カ其仕事ノ結果ニ對シテ報酬ヲ與フルコトヲ約スルニ因リテ其效力ヲ生ス

(參照)取二七五佛一七一、一七七九一七八七澳一一五一、一五二蘭一六四〇、伊一六二七一六三四葡一三九六瑞債務法三五〇、三六五、センチチクロ八八〇、西一五八八白章一八五七獨一章五六七、五七九同二章五六九、五七〇、普國法一部一章八六九九二五索一二四三巴章二編五一

第六百四十條 報酬ハ工作物ノ引渡ト同時ニ之ヲ與フルコトヲ要ス但請負カ工作物ノ引渡ヲ目的トセサルトキハ第六百二十九條第一項ノ規定ヲ準用ス

(參照)六三〇、一項澳一一五六葡一四〇六瑞債務法三六三、センチチクロ三五八西一五九二獨一章五七三同二章五七八普國法一部一章九三二索一二四六巴章二編五一五一項